

第39回スーパーコンピューティング・セミナー開催報告

今年度第2回目となるスーパーコンピューティング・セミナー（通算第39回）は、「防災・減災，社会（都市）インフラ」をテーマに、11月22日（水）に機械振興会館で開催致しました。

参加者は、合計41名（一般参加者19名《正会員企業15名，非正会員企業4名》、企画委員5名、実行委員2名、セミナーWGメンバー6名、講師5名、事務局及び支援4名）でした。今回のセミナーテーマは、産応協のセミナーテーマとしては、今まであまり取り上げてこなかったテーマではありますが、昨今の危機管理への関心の高まりから、講師と聴講者の間で大変熱心な質疑応答が繰り広げられました。

《プログラム》

- 「高性能計算を利用した地震シミュレーション」
東京大学地震研究所巨大地震津波予測研究センター 堀 宗朗氏
- 「リアルタイム津波浸水被害シミュレーション」
東北大学災害科学国際研究所災害リスク研究部門広域被害把握研究分野 越村俊一氏
- 「数値流体解析による陸屋根設置型太陽電池アレイの風荷重評価」
株式会社 東芝 研究開発センター機械・システムラボラトリ 松岡 敬氏
- 「高速道路における地震応答シミュレーション」
阪神高速道路株式会社 建設・更新事業本部神戸建設所 金治英貞氏
- 「避難シミュレーションはどう活用すべきか」
株式会社構造計画研究所 公共企画マーケティング部 佐藤 壮氏

